

諏訪市公告第34号

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第19条第1項の規定により、下記の地域農業経営基盤強化促進計画（以下、地域計画）を変更したので、同条第8項の規定により公告する。

令和8年3月16日

諏訪市長 金子 ゆかり

地域計画を変更した地域

目標地図変更の有無

- | | |
|----------------|---|
| (1) 文出・小川・有賀地区 | 有 |
| (2) 湖南地区 | 有 |
| (3) 中洲地区 | 有 |
| (4) 上野地区 | 無 |
| (5) 板沢地区 | 無 |
| (6) 後山地区 | 無 |
| (7) 四賀霧ヶ峰地区 | 無 |

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月16日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	諏訪市 (20206)
地域名 (地域内農業集落名)	文出・小川・有賀地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	163.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	163.1 ha
② 田の面積	136.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	26.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	69.3 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	74.0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	43.2 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・農地の地下水位が高いため、水稻以外の耕作が困難。畑作を行う場合は、相当に土を盛らねばならない。 ・地域に農家が少なくなっている上、高齢化や後継者不足などの問題を抱えている。 ・担い手に耕作委託している水田の所有者が多い。 ・近年、耕作作業の受託側のコスト増が顕著であり、耕作委託の料金増や年貢減などの影響が出ている。 ・水田の水路の老朽化が進んでいる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・経営能力に余力のある大規模経営体が地区内に存在する。耕作が困難となった農地(水田)所有者は、当該の経営体に作業受託する流れができています。 ・地区の水田地帯において基盤整備事業を計画、推進中である。当該事業によって、上述の大規模経営体を含む担い手の耕作作業の効率化や収益率の向上、新規需要米への取組や更なる集約化を推進する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	60.0	%	将来の目標とする集積率
			66.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は97.9ha。(令和6年度時点)			
農地の団地数の縮小及び団地面積の拡大を進める。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心とした農地の集積・集約化を進めるため団地面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大規格化や平坦化等の基盤整備を視野に入れた検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
近隣地域やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術指導や農業用機械のレンタルに係る支援を図るなど、相談から定着まで切れ目のない取組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るため、地域の担い手への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・農業委員会において、耕作が困難となった農地所有者と、地域農業の担い手とを繋ぐ体制づくりを進める。
- ・地域の特産品の検討を行う。
- ・新規需要米への取組を推進する。
- ・農地基盤整備事業により自動給水装置を設置予定
- ・農地中間管理事業において、地域の農地利用調整の合意形成のため、物納(米)の取扱いも可能としていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	水稻	33.9 ha	- ha	水稻	37.3 ha	- ha	A	
2	認農	B	水稻	50.7 ha	- ha	水稻	55.8 ha	- ha	B	
3	認農	C	水稻	1.6 ha	- ha	水稻	1.8 ha	- ha	C	
4	認農	D	施設野菜	1.0 ha	- ha	施設野菜	1.1 ha	- ha	D	
5	認農	E	野菜	0.0 ha	- ha	野菜	0.0 ha	- ha	E	
6	認農	F	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	F	
7	認農	G	果樹	0.0 ha	- ha	果樹	0.0 ha	- ha	G	
8	認農	H	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	H	
9	認農	I	水稻	0.8 ha	- ha	水稻	0.9 ha	- ha	I	
10	認農	J	水稻	1.0 ha	- ha	水稻	1.1 ha	- ha	J	
11	認農	K	水稻	0.7 ha	- ha	水稻	0.8 ha	- ha	K	
12	認農	L	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	水稻・野菜	0.9 ha	- ha	L	
13	認農	M	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	M	
14	認農	N	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	N	
15	認農	O	花き・花木	0.5 ha	- ha	花き・花木	0.5 ha	- ha	O	
16	認農	P	花き・花木	0.2 ha	- ha	花き・花木	0.2 ha	- ha	P	
17	認農	Q	果樹	0.0 ha	- ha	果樹	0.0 ha	- ha	Q	
18	認農	R	果樹	0.2 ha	- ha	果樹	0.2 ha	- ha	R	
19	認農	S	果樹	0.0 ha	- ha	果樹	0.0 ha	- ha	S	
20	認農	T	施設野菜	0.5 ha	- ha	施設野菜	0.5 ha	- ha	T	
21	認農	U	施設野菜	0.2 ha	- ha	施設野菜	0.2 ha	- ha	U	
22	認農	V	水稻	0.6 ha	- ha	水稻	0.7 ha	- ha	V	
23	認就	W	野菜	0.1 ha	- ha	野菜	0.1 ha	- ha	W	
24	利用者	X	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	X	
25	利用者	Y	野菜	0.0 ha	- ha	野菜	0.0 ha	- ha	Y	
26	利用者	Z	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	Z	
27	利用者	a	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	a	
28	利用者	b	野菜	0.1 ha	- ha	野菜	0.1 ha	- ha	b	
29	利用者	c	野菜	0.0 ha	- ha	野菜	0.0 ha	- ha	c	
30	利用者	d	野菜	0.0 ha	- ha	野菜	0.0 ha	- ha	d	
31	利用者	e	野菜	0.0 ha	- ha	野菜	0.0 ha	- ha	e	
32	利用者	f	野菜	0.1 ha	- ha	野菜	0.1 ha	- ha	f	
33	利用者	g	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	g	
34	利用者	h	野菜	0.5 ha	- ha	野菜	0.5 ha	- ha	h	
35	利用者	i	水稻・野菜	0.6 ha	- ha	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	i	
36	利用者	j	水稻・野菜	1.3 ha	- ha	水稻・野菜	1.4 ha	- ha	j	
37	利用者	k	水稻	1.0 ha	- ha	水稻	1.1 ha	- ha	k	
38	利用者	l	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	l	
39	利用者	m	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	m	
40	利用者	n	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	n	

文出・小川・有賀



A	■	R	■
B	■	T	■
C	■	U	■
D	■	V	■
F	■	W	■
H	■	Z	■
I	■	b	■
J	■	f	■
K	■	g	■
L	■	h	■
M	■	i	■
N	■	j	■
O	■	k	■
P	■		

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月16日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	諏訪市 (20206)
地域名 (地域内農業集落名)	湖南地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	105.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	105.6 ha
② 田の面積	87.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	18.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	16.9 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	53.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	19.7 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・水田作には経営能力のある担い手が複数いる一方、畑の条件が悪いため、畑作の担い手が規模拡大できない。 ・水田圃場の規格が小さい。また、凍結や地盤沈下によって、水路や農道が老朽化している。 ・資材代や光熱費などが値上がっており、農業経営を圧迫している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化等で農業の継続が困難となった場合、農地が平地の水田であれば、担い手に作業受託して集約を進める。 ・地下水位が高いため、平地の水田での転作は困難。生産調整については、加工用米や新規需要米の取組を行うほか、そのためにも経営の効率化が必要。 ・他地区で推進中の水田農地の基盤整備事業に向けた検討を行い、担い手への農地集積を進め、担い手の農業経営の効率化を目指す。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	40.7 %	将来の目標とする集積率	55.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は 43.0ha。(令和6年度時点)			
農地の団地数の縮小及び団地面積の拡大を進める。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心とした農地の集積・集約化を進めるため団地面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大規格化や平坦化等の基盤整備を視野に入れた検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
近隣地域やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術指導や農業用機械のレンタルに係る支援を図るなど、相談から定着まで切れ目のない取組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るため、地域の担い手への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・農業委員会において、耕作が困難となった農地所有者と、地域農業の担い手とを繋ぐ体制づくりを進める。
- ・地域の特産品の検討を行う。
- ・新規需要米への取組を推進する。
- ・農地中間管理事業において、地域の農地利用調整の合意形成のため、物納(米)の取扱いも可能としていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計		0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha	

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	水稻	10.6 ha	- ha	水稻	11.7 ha	- ha	A	
2	認農	B	水稻	7.6 ha	- ha	水稻	8.4 ha	- ha	B	
3	認農	C	水稻	0.2 ha	- ha	水稻	0.2 ha	- ha	C	
4	認農	D	水稻	0.2 ha	- ha	水稻	0.2 ha	- ha	D	
5	認農	E	水稻・野菜	2.8 ha	- ha	水稻・野菜	3.1 ha	- ha	E	
6	認農	F	水稻	4.8 ha	- ha	水稻	5.3 ha	- ha	F	
7	認農	G	水稻	11.3 ha	- ha	水稻	12.4 ha	- ha	G	
8	認農	H	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	H	
9	認農	I	水稻	3.2 ha	- ha	水稻	3.5 ha	- ha	I	
10	認農	J	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	J	
11	認農	K	施設野菜	0.6 ha	- ha	施設野菜	0.7 ha	- ha	K	
12	認農	L	施設野菜	0.2 ha	- ha	施設野菜	0.2 ha	- ha	L	
13	認農	M	施設野菜	0.0 ha	- ha	施設野菜	0.0 ha	- ha	M	
14	認農	N	施設野菜	0.0 ha	- ha	施設野菜	0.0 ha	- ha	N	
15	認農	O	施設野菜	0.1 ha	- ha	施設野菜	0.1 ha	- ha	O	
16	認農	P	施設野菜	0.7 ha	- ha	施設野菜	0.8 ha	- ha	P	
17	認農	Q	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	Q	
18	利用者	R	野菜	0.3 ha	- ha	野菜	0.3 ha	- ha	R	
19	利用者	S	水稻	0.3 ha	- ha	水稻	0.3 ha	- ha	S	
20	利用者	T	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	T	
21	利用者	U	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	U	
22	利用者	V	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	V	
23	利用者	W	水稻	0.2 ha	- ha	水稻	0.2 ha	- ha	W	
24	利用者	X	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	X	
25	利用者	Y	水稻	0.3 ha	- ha	水稻	0.3 ha	- ha	Y	
26	利用者	Z	野菜	0.2 ha	- ha	野菜	0.2 ha	- ha	Z	
27	利用者	a	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	a	
28	利用者	b	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	b	

湖 南



A	■	L	■	a	■
B	■	O	■	b	■
C	■	P	■		
D	■	R	■		
E	■	S	■		
F	■	U	■		
G	■	V	■		
H	■	W	■		
I	■	Y	■		
K	■	Z	■		

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月16日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	諏訪市 (20206)
地域名 (地域内農業集落名)	中洲地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	24.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.6 ha
② 田の面積	23.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	13.0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	5.1 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・宅地化が進んでいる。 ・農作業に対する地域住民の苦情が多い、水路の維持管理に係る地区役員の意識低下、農地同士が繋がっていない、などの課題に繋がっている。 ・地区内に農業の担い手がない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・水田作については、JA等を通して、他地区の担い手へ作業委託を行う。 ・担い手が作業しやすい環境づくりのためには、地域住民を含めた話し合いが必要。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	76.0 %	将来の目標とする集積率	83.7 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は 18.7ha。(令和6年度時点)			
農地の団地数の縮小及び団地面積の拡大を進める。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心とした農地の集積・集約化を進めるため団地面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大規格化や平坦化等の基盤整備を視野に入れた検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
近隣地域やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術指導や農業用機械のレンタルに係る支援を図るなど、相談から定着まで切れ目のない取組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るため、地域の担い手への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・農業委員会において、耕作が困難となった農地所有者と、地域農業の担い手とを繋ぐ体制づくりを進める。
- ・地域の特産品の検討を行う。
- ・新規需要米への取組を推進する。
- ・農地中間管理事業において、地域の農地利用調整の合意形成のため、物納(米)の取扱いも可能としていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	水稻	2.5 ha	- ha	水稻	2.8 ha	- ha	A	
2	認農	B	水稻	0.6 ha	- ha	水稻	0.7 ha	- ha	B	
3	認農	C	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	C	
4	認農	D	水稻	0.5 ha	- ha	水稻	0.5 ha	- ha	D	
5	認農	E	養蜂	0.0 ha	- ha	養蜂	0.0 ha	- ha	E	
6	認農	F	水稻	0.0 ha	- ha	水稻	0.0 ha	- ha	F	
7	認農	G	水稻	2.5 ha	- ha	水稻	2.8 ha	- ha	G	
8	認農	H	水稻	8.4 ha	- ha	水稻	9.2 ha	- ha	H	
9	認農	I	水稻	0.1 ha	- ha	水稻	0.1 ha	- ha	I	
10	認農	J	水稻	0.3 ha	- ha	水稻	0.3 ha	- ha	J	
11	認農	K	水稻	0.4 ha	- ha	水稻	0.4 ha	- ha	K	
12	認農	L	水稻	0.4 ha	- ha	水稻	0.4 ha	- ha	L	
13	認農	M	水稻	1.5 ha	- ha	水稻	1.7 ha	- ha	M	
14	認農	N	施設野菜	1.4 ha	- ha	施設野菜	1.5 ha	- ha	N	
15	利用者	O	水稻	1.0 ha	- ha	水稻	1.1 ha	- ha	O	

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月16日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	諏訪市 (20206)
地域名 (地域内農業集落名)	上野地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	13.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	13.4 ha
② 田の面積	7.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	5.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	8.8 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	4.4 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・高齢化が進行しているが、後継者が不足していること。
- ・農作物の販売先の新規開拓に苦慮していること。
- ・広くて平坦な農地が少ないため、効率的な耕作や、他地域の担い手への耕作委託が困難なこと。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・農地利用は、認定農業者1経営体、認定新規農業者1経営体、基本構想水準到達者2経営体を中心となって担っていく。
- ・入作を希望する認定農業者等の受入れを促進するため、耕地整理も視野に入れた農地の整備や、コーディネーター役の育成を行っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	93.3	%	将来の目標とする集積率
			100 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は 12.5 ha。(令和6年度時点)			
農地の団地数の縮小及び団地面積の拡大を進める。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
自作者が離農する際は、隣接する耕作者や地区内の担い手への貸付を検討し、可能な限り農地集積を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大規格化や平坦化等の基盤整備を視野に入れた検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
近隣地域やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術指導や農業用機械のレンタルに係る支援を図るなど、相談から定着まで切れ目のない取組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るため、地域の担い手への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・既存の水稻、野菜(トマトなど)、特産物(上野大根)のほか、収益性の高い作物(人参、じゃがいもなど)の生産の取組を検討する。
- ・地域で有害鳥獣侵入防止ネットを設置し、農作物の保護に取り組む。
- ・農地中間管理事業において、地域の農地利用調整の合意形成のため、物納(米)の取扱いも可能としていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 A	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	A	
2	認就 B	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	B	
3	到達 C	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	C	
4	到達 D	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	D	
5	利用者 E	水稻・野菜	0.9 ha	- ha	水稻・野菜	1.0 ha	- ha	E	
6	利用者 F	水稻・野菜	0.9 ha	- ha	水稻・野菜	1.0 ha	- ha	F	
7	利用者 G	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	水稻・野菜	0.9 ha	- ha	G	
8	利用者 H	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	H	
9	利用者 I	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	I	
10	利用者 J	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	J	
11	利用者 K	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	K	
12	利用者 L	水稻・野菜	0.7 ha	- ha	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	L	
13	利用者 M	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	M	
14	利用者 N	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	N	
15	利用者 O	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	O	
16	利用者 P	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	P	
17	利用者 Q	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	Q	
18	利用者 R	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	R	
19	利用者 S	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	S	
20	利用者 T	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	T	
21	利用者 U	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	U	
22	利用者 V	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	V	
23	利用者 W	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	水稻・野菜	0.2 ha	- ha	W	
24	利用者 X	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	X	
25	利用者 Y	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	Y	
26	利用者 Z	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	Z	
27	利用者 a	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	a	
28	利用者 b	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	b	
29	利用者 c	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	c	
30	利用者 d	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	d	
31	利用者 e	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	e	
32	利用者 f	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	f	
33	利用者 g	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	g	
34	利用者 h	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	h	
35	利用者 i	水稻・野菜	0.0 ha	- ha	水稻・野菜	0.0 ha	- ha	i	
36	利用者 j	水稻・野菜	0.0 ha	- ha	水稻・野菜	0.0 ha	- ha	j	

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月16日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	諏訪市 (20206)
地域名 (地域内農業集落名)	板沢地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	8.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.5 ha
② 田の面積	3.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	5.3 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	5.3 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・現状の担い手のほとんどが高齢化しているうえ、後継者が不在である。
- ・農地は法面や土手の面積が広くて不整形なので、管理が困難。他者への受委託も難しい。
- ・中山間地域等直接支払交付金を受けて農地を維持管理しているが、協定参加者が高齢化している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・中山間地域等直接支払交付金による農地の維持管理を、協定参加者が一丸となって継続する。
- ・新型コロナ禍によって「田舎暮らし」需要が高まり、農地所有者の孫世代が一時的に戻ってくるなどした。今後こうした需要に応えるため、農地の維持管理を継続としていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	68.2	%	将来の目標とする集積率
			71.8 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は 5.8 ha。(令和6年度時点)			
農地の団地数の縮小及び団地面積の拡大を進める。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
自作者が離農する際は、隣接する耕作者や地区内の担い手への貸付を検討し、可能な限り農地集積を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大規格化や平坦化等の基盤整備を視野に入れた検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
近隣地域やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術指導や農業用機械のレンタルに係る支援を図るなど、相談から定着まで切れ目のない取組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るため、地域の担い手への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・農地の維持管理を一丸となって継続としていく。
- ・収益性の高い品目の検討。
- ・農地中間管理事業において、地域の農地利用調整の合意形成のため、物納(米)の取扱いも可能としていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり								
計	0経営体		ha	ha		ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	A	水稻・野菜	1.2 ha	- ha	水稻・野菜	1.3 ha	- ha	A	
2	利用者	B	水稻・野菜	0.9 ha	- ha	水稻・野菜	1.0 ha	- ha	B	
3	利用者	C	水稻・野菜	0.8 ha	- ha	水稻・野菜	0.9 ha	- ha	C	
4	利用者	D	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	水稻・野菜	0.5 ha	- ha	D	
5	利用者	E	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	E	
6	利用者	F	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	F	
7	利用者	G	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	G	
8	利用者	H	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	水稻・野菜	0.4 ha	- ha	H	
9	利用者	I	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	I	
10	利用者	J	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	水稻・野菜	0.3 ha	- ha	J	
11	利用者	K	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	K	
12	利用者	L	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	水稻・野菜	0.1 ha	- ha	L	
13	利用者	M	水稻・野菜	0.0 ha	- ha	水稻・野菜	0.0 ha	- ha	M	

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月16日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	諏訪市 (20206)
地域名 (地域内農業集落名)	後山地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	36.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	36.4 ha
② 田の面積	22.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	14.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	17.6 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	9.9 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・現状の担い手のほとんどが高齢化しているうえ、後継者が不在である。
- ・農地は法面や土手の面積が広くて不整形なので、管理が困難。他者への受委託も難しい。
- ・鳥獣による農業被害が多く、防護に係る手間や費用が嵩んでいる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・現状、地区内には認定農業者等の担い手が複数いるが、現状維持が精一杯で、規模拡大は困難である。
- ・収益性の高い品目が見つければ、現状の担い手の子ども世代が戻ってこれる可能性はある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	69.2	%	将来の目標とする集積率
			75.5 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は 25.2 ha。(令和6年度時点)			
農地の団地数の縮小及び団地面積の拡大を進める。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
自作者が離農する際は、隣接する耕作者や地区内の担い手への貸付を検討し、可能な限り農地集積を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大規格化や平坦化等の基盤整備を視野に入れた検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
近隣地域やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術指導や農業用機械のレンタルに係る支援を図るなど、相談から定着まで切れ目のない取組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るため、地域の担い手への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・農地の維持管理を一丸となって継続としていく。
- ・収益性の高い品目の検討。
- ・農地中間管理事業において、地域の農地利用調整の合意形成のため、物納(米)の取扱いも可能としていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計		0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha	

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	花き・花木	1.9 ha	- ha	花き・花木	2.1 ha	- ha	A	
2	認農	B	花き・花木	1.5 ha	- ha	花き・花木	1.6 ha	- ha	B	
3	認農	C	水稲・野菜	1.2 ha	- ha	水稲・野菜	1.3 ha	- ha	C	
4	認農	D	養豚	0.4 ha	- ha	養豚	0.4 ha	- ha	D	
5	到達	E	水稲・野菜	2.7 ha	- ha	水稲・野菜	2.9 ha	- ha	E	
6	到達	F	花き・花木	0.9 ha	- ha	花き・花木	1.0 ha	- ha	F	
7	到達	G	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	水稲・野菜	0.9 ha	- ha	G	
8	利用者	H	水稲・野菜	1.5 ha	- ha	水稲・野菜	1.7 ha	- ha	H	
9	利用者	I	水稲・野菜	1.3 ha	- ha	水稲・野菜	1.5 ha	- ha	I	
10	利用者	J	水稲・野菜	1.2 ha	- ha	水稲・野菜	1.3 ha	- ha	J	
11	利用者	K	水稲・野菜	0.9 ha	- ha	水稲・野菜	1.0 ha	- ha	K	
12	利用者	L	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	水稲・野菜	0.9 ha	- ha	L	
13	利用者	M	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	水稲・野菜	0.9 ha	- ha	M	
14	利用者	N	水稲・野菜	0.7 ha	- ha	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	N	
15	利用者	O	水稲・野菜	0.7 ha	- ha	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	O	
16	利用者	P	水稲・野菜	0.7 ha	- ha	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	P	
17	利用者	Q	水稲・野菜	0.7 ha	- ha	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	Q	
18	利用者	R	水稲・野菜	0.7 ha	- ha	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	R	
19	利用者	S	水稲・野菜	0.7 ha	- ha	水稲・野菜	0.8 ha	- ha	S	
20	利用者	T	水稲・野菜	0.6 ha	- ha	水稲・野菜	0.7 ha	- ha	T	
21	利用者	U	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	U	
22	利用者	V	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	V	
23	利用者	W	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	W	
24	利用者	X	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	X	
25	利用者	Y	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	水稲・野菜	0.5 ha	- ha	Y	
26	利用者	Z	水稲・野菜	0.4 ha	- ha	水稲・野菜	0.4 ha	- ha	Z	
27	利用者	a	水稲・野菜	0.4 ha	- ha	水稲・野菜	0.4 ha	- ha	a	
28	利用者	b	水稲・野菜	0.3 ha	- ha	水稲・野菜	0.3 ha	- ha	b	
29	利用者	c	水稲・野菜	0.2 ha	- ha	水稲・野菜	0.2 ha	- ha	c	
30	利用者	d	水稲・野菜	0.2 ha	- ha	水稲・野菜	0.2 ha	- ha	d	
31	利用者	e	水稲・野菜	0.2 ha	- ha	水稲・野菜	0.2 ha	- ha	e	
32	利用者	f	水稲・野菜	0.1 ha	- ha	水稲・野菜	0.1 ha	- ha	f	
33	利用者	g	水稲・野菜	0.1 ha	- ha	水稲・野菜	0.1 ha	- ha	g	
34	利用者	h	水稲・野菜	0.1 ha	- ha	水稲・野菜	0.1 ha	- ha	h	

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月16日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	諏訪市 (20206)
地域名 (地域内農業集落名)	四賀霧ヶ峰地区

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	45.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	45.1 ha
② 田の面積	0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	45.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	13.8 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・畜産や酪農が中心の地区であるが、農業者数が徐々に減少している。 ・飼料や光熱費などの経費増が顕著。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・経営が安定している担い手が複数いるため、離農等の状況が生じた場合は、耕作を担い手へ繋いでいく。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	80.7 %	将来の目標とする集積率	88.9 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は 36.4 ha。(令和6年度時点)			
農地の団地数の縮小及び団地面積の拡大を進める。(令和15年度)			

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 A	酪農	9.3 ha	- ha	酪農	10.2 ha	- ha	A	
2	到達 B	野菜	5.8 ha	- ha	野菜	6.4 ha	- ha	B	
3	利用者 C	野菜	6.6 ha	- ha	野菜	7.3 ha	- ha	C	
4	利用者 D	野菜	3.6 ha	- ha	野菜	4.0 ha	- ha	D	
5	利用者 E	野菜	4.1 ha	- ha	野菜	4.5 ha	- ha	E	
6	利用者 F	野菜	3.6 ha	- ha	野菜	4.0 ha	- ha	F	
7	利用者 G	野菜	3.4 ha	- ha	野菜	3.7 ha	- ha	G	